

第2単元 折れ線グラフと表①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	50 (各10)	① 4000台 ② 3(月)、11000台 ③ 3月と4月の間 ④ 11月から12月まで	知技折れ線グラフの縦軸、横軸やグラフの傾きの意味を理解し、折れ線グラフを読み取ることができる。	縦軸、横軸が何を表しているのかを理解させ、その読み取り方やグラフの傾きで変わり方が分かることを確認する。
②	40	(略)	知技表を折れ線グラフに表すことができる。	表題を含めて、それぞれが何の枠であるかを確認する。また、目盛りの取り方では、縦軸は最高気温、横軸は時刻がすべておさまるように気をつけさせる。
③	10	5	知技二次元表の読み取り方を理解している。	表の各欄の意味を理解させたうえで確認する。

第2単元 折れ線グラフと表②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	ア、エ (順不同)	思判表折れ線グラフの特性をとらえ、目的に応じて折れ線グラフで表したほうがよいものを選択している。	棒グラフのよさ、折れ線グラフのよさを比較し、その用途を確認する。
②	① う ② あ ③ お ④ え ⑤ い	思判表表の中のそれぞれの数が、どのような人を表しているか読み取っている。	見やすく整理された表がどんな観点でまとめられているのかを確認する。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	6～5問	4～3問	2～0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことの2観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、学習の感想とさらに学習したいことのどちらか1観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、学習の感想とさらに学習したいことが書かれていない。